



消防ポンプ自動車

主な普通建設事業費

	(単位：千円)
土木費	61,803
道路整備	27,644
維持補修工事	
消防費	
消防ポンプ自動車更新（第3分団）	14,419
教育費	
中学校外構整備工事	19,425

歳出決算額 35億4,708万円

歳出

歳出決算額は、35億4千7百8万円で前年度決算額34億8千4百63万円に比べ1.8%（6千2百45万円）の増額となりました。

目的別歳出の主な特徴点として、議会費や衛生費、農林水産業費、教育費が減少したものの、総務費、民生費、土木費、消防費、公債費などが増加したこと、全体として増となりました。

対前年度との比較では、民生費で高齢者医療制度改正に伴うシステム改修費や児童手当法の改正により3歳未満の児童に対する手当の月額を一律1万円とする措置を講じたほか、地域子育てセンターを1か所開設、障害者支援費、老人保健特別会計繰出金などが増となりました。

衛生費は、水道事業の給水収益の減少により水道会計補助金が増加した一方、新たなごみ処理施設建設の終了に伴い、さしま環境管理事務組合負

担金が減となりました。土木費は、地籍調査事業が調査区域の縮小により減となったものの、山王地区防災ステーションのアクセス道路整備や圏辺地域の土地利用調査費、下水道事業の公債費負担などが増となりました。

消防費は、地域防災計画の改定、地震ハザードマップ、職員初動対応マニュアルの作成、消防ポンプ自動車1台の更新により増となっています。教育費は、各小・中学

校に防犯カメラを設置、小学校の情報機器の更新を行ったものの、継続中の中学校外構工事が減となりました。

公債費は、平成16年度に整備し町債を発行した中学校改築・改修事業や臨時財政対策債の元金償還開始により増となりました。

性質別歳出とは・・・

どのような性質の経費がどのくらい使われたのかを示しています。

- 人件費…町長、職員の給与や議員報酬などです。
- 扶助費…児童、高齢者や障害者に対するものです。
- 公債費…町が借った地方債の返済（元利償還金）です。
- 普通建設事業費…道路や施設の整備にかかるものです。
- 物件費…消耗品費や委託料などです。
- 維持補修費…公共用施設の修繕費です。
- 補助費等…ごみ処理や消防などの負担金です。
- 積立金…特定の目的のために積み立てるものです。
- 繰出金…特別会計に支出される経費です。
- 投資及び出資金……県信用保証協会等への出資金です。
- 貸付金…高額療養費等への貸付金です。

